



1.挨拶する服部泰直学長。2.材料エネルギー学部の魅力や教育の特徴を紹介する三原毅材料エネルギー学部長。3・4.4月に入学した材料エネルギー学部1期生2名による発表。5.丸山達也島根県知事。6.客員教授であるケンブリッジ大学のキャサリン・ライ教授。7.オックスフォード大学のロジャー・リード教授からのお祝いビデオメッセージ。8.祝賀会鏡開きの様子。



島根創生に資する特色ある学部が始動

# 「材料エネルギー学部」設置記念式典を挙行政

## 島根創生に向けた産官学の関係者が集う

2023年7月30日、松江市内のホテルにおいて、島根大学材料エネルギー学部設置記念式典・祝賀会を開催しました。記念式典には、教育界、政界、経済界、官界、地元自治体、その他関連団体及び学生、教職員など120名を超える方々にご参加いただきました。最初に、服部学長より「材料エネルギー学部は、これまでの金属材料研究の強みを活かしながら、社会的要請の高いエネルギー課題の解決につながる素材・材料の研究、高度専門人材育成のために、マテリアルとコンピューティングの連携をベースとした、特色ある教育・研究を展開する先鋭的な学部として開設した」と挨拶があり、多数の来賓の方々より祝辞をいただきました。(P3・4参照)

その後、三原材料エネルギー学部長より学部の特色を紹介したほか、4月に入学した1期生2名が、学部での学びや将来の夢などを語りました。また、本学客員教授であるケンブリッジ大学のキャサリン・ライ教授からの祝辞と、オックスフォード大学のロジャー・リード教授及びグラハム・マッカートニー教授からお祝いのビデオメッセージをいただきました。

続いて行われた祝賀会では、来賓の方々の祝辞をいただいた後、鏡開きを行い開宴しました。終始和やかな雰囲気の中にも、産官学の関係者の島根創生に向けた熱い想いが詰まった会として、大盛況でした。

島根大学では、材料科学分野の教育・研究をさらに発展させるとともに、大学全体での改革・機能強化を実現し、地域産業界に高度専門人材を継続的に輩出することで、産業界への貢献を起こし、島根創生の実現に向け一層努力していきます。

## Vol.56 CONTENTS

【特集1】  
「材料エネルギー学部」設置記念式典を挙行政 01

【特集2】  
岸田首相、中四国県知事などが本学を視察 05

【特集3】  
室蘭工業大学、宮崎大学と包括連携協定を締結 07

【特集4】  
学長スペシャル対談 江津市長 中村中氏 09

- 島根大学の研究・地域貢献事業紹介
  - ①法文学部 学際領域展開ハブ形成プログラム 11
  - ②材料エネルギー学部 澤野 卓大 准教授 13
- 社会で活躍する卒業生 15
- 島根大学支援基金より 17
- 読者プレゼント 17

企画・制作  
株式会社メリット  
デザイン  
株式会社SAIDO  
タイトルロゴデザイン  
松陽印刷所デザイン室 森脇 祥吾

人とともに 地域とともに 島根大学

\*shimadai  
広報しまだい  
Shimane University  
2023.12 vol.56



協同組合島根県鐵工会理事長  
児玉 泰州さま

新産業をつかっていくには、エッジの効いた付加価値を創造できる人材が揃っていることが非常に大事だと考えています。材料エネルギー学部の学生さんは、様々な研究をされるとと思いますが、好奇心を持って新しいものを作っていくことに取り組んでいただきたいと思います。



島根県議会議長  
園山 繁さま

産業構造の変革に対応し、企業が持続的に成長していくためには、新たな挑戦が必要になってまいります。材料エネルギー学部には、県内企業と協力して研究開発を進め、学生の県内就職を促進し、イノベーション創出の拠点として貢献していただくことを期待しています。



地方創生に資する魅力ある地方大学の  
実現に向けた検討会議議長・東京島根県人会会長  
坂根 正弘さま

産官学金が一体となって、材料エネルギー学部を中心に今ある産業を強くし、他学部もタイアップして、大学発のベンチャーを育てていく。これにより島根大学が地方大学改革のモデルケースとなるよう、ヒト・モノ・カネを結集して頑張っていただくことを願っています。



株式会社山陰合同銀行取締役頭取  
山崎 徹さま

材料エネルギー学部の新設を受け、私も金融機関も、島根大学発ベンチャーファンドなどこれまで行ってきたファイナンスに加え、島根大学と連携したアントレプレナーの育成や、地元企業の付加価値向上のお手伝いをさらに強化しなければならないと思っています。



一般社団法人国立大学協会専務理事  
位田 隆一さま

地方大学は、地方だけではなく、世界に輝くからこそ、地方創生をリードできるのだと思っています。材料エネルギー学部は、材料と情報、社会実装という3つの面を組み合わせ、時代のニーズと最先端の科学技術のマッチングの成功例になるだろうと期待しています。



松江市長  
上定 昭仁さま

松江市は、創業・起業のためのエコシステムづくりを進めており、これを産官学金が一体となった地域全体で活用することにより、世界市場に繋がっていきたく考えています。材料エネルギー学部が、全国・海外との連携を図る拠点となり、松江市・島根県の持続的な発展を導かれることを祈念しています。



島根県商工会議所連合会会頭  
田部 長右衛門さま

大学や学部で様々な研究を行っていくことと思います。経済界も大学と連携を図り、スタートアップ(起業)と一緒に取り組んでいき、事業化・産業化を進めていきたいと考えています。この地域で内需を拡大し、イノベーションを起こしていければと思います。



一般社団法人島根県経営者協会会長  
久保田 一郎さま

材料エネルギー学部に対して、地元経済界の皆さまには特に資金的なご協力を賜りたいと思います。新学部には優秀な理系の人材を輩出していただいて、その皆さんがこの島根県に残り、地元の振興に尽くしていただくことを祈念しています。

# 島根大学と 材料エネルギー学部への期待

## 来賓の皆さまからのご祝辞



衆議院議員  
高階 恵美子さま

材料エネルギー学部の科学技術は、これからの時代を切り拓き、経済を循環させ、可能性を広げていく分野です。地域振興と高度専門人材の育成、産業界の活性化、あわせて人々の心の交流を深める拠点として、この学部と一緒に育っていきたく考えています。



衆議院議員  
高見 康裕さま

人口減少・少子化が進んでいる島根県にとって、大学の改革がいかに重要であるかを訴えた結果、定員増が実現し、材料エネルギー学部が設置されました。島根創生のプラットフォームとして、また産官連携の扇の要として、産業振興にも効果を発揮されることを願っています。



参議院議員  
三浦 靖さま

都会に憧れるのではなく、この地域を誇りに思い、キラリと光る、世界・全国に誇れる地域として、ぜひ丸山知事・服部学長・産業界の皆さんの産学官が三位一体となって、金属だけに「磨き上げ、鋭く、そして尖った」ものにしていただけることを心から願っています。



参議院議員  
舞立 昇治さま

デジタル人材の育成が国全体の喫緊の課題となっています。島根大学も、材料エネルギー学部を設立したばかりですが、デジタル人材育成の観点から、学部の定員増や再編等を進めていただけると、私も精一杯全力で応援させていただきます。と思っています。



島根県知事  
丸山 達也さま

材料エネルギー学部の研究・教育体制の充実、そして県内産業界の課題解決に向けた取組を進めていただくことに対して、島根県としてもできる限り支援を重ねてまいります。県内産業界、若者の間を繋いでいく役割を果たされることで、県内への若者定着に繋がれることを期待しています。



文部科学省高等教育局長  
池田 貴城さま

材料エネルギー学部の設置を契機として、県内産業界へのイノベーション創出、地方創生の実現に島根大学がより一層貢献することのみならず、世界的なSDGsの達成や脱炭素化への流れを踏まえた高性能な素材開発、DX推進などにも寄与することを期待しています。